

# 企業のための生物多様性セミナー

## 1 はじめに

きょうと生物多様性センターでは、京都の伝統・文化や暮らしを支えてきた「京都の自然の恵み」を守り、次世代につないでいくため、様々な取組を展開しています。

世界では、令和5年9月に生物多様性に関する情報開示の枠組み（TNFD<sup>※</sup>）が公開され、金融機関等は投資する企業等に対して、事業活動の中に生物多様性への配慮を求めていく流れにあります。

こうした情勢を踏まえ、本セミナーでは、企業に求められる役割を知り、行動変容していただけるよう、専門家の講演、生物多様性保全に取り組んでいる企業の取組等の御紹介に加え、会場では登壇者や参加者を交えてグループディスカッションを行います。

※ 金融機関や投資家の適切な投資判断のために、企業等における自然環境や生物多様性に関するリスク・機会の評価と開示を促す枠組み。

## 2 概要

日時：令和8年3月4日（水） 午後3時～午後6時

※オンライン参加の方は午後5時頃までとなります

会場：京都経済センター3階 3-H会議室

## 3 運営等

主催：きょうと生物多様性センター、京都府、京都市

協力：三井住友海上火災保険(株)、MS&ADインターリスク総研(株)

後援：京都商工会議所、京都工業会、環境省近畿地方環境事務所

## 4 スケジュール及び内容

15:00 開会の挨拶（湯本 貴和 氏 / きょうと生物多様性センター センター長）

15:05 基調講演①

【テーマ】企業にネイチャーポジティブ経営を求める国際潮流の概要と自治体との連携の意義

【講演者】原口 真 氏

（MS&ADインシュアランスグループホールディングス(株)、TNFDタスクフォースメンバー）

東京大学農学系大学院修了（農業生物学）。1996年プラント・エンジニアリング企業勤務を経て、現職。環境省・次期生物多様性国家戦略研究会委員、国土交通省・グリーンインフラ官民連携プラットフォーム企画・広報部会幹事等を務める。



15:35 基調講演②

【テーマ】 京都企業のネイチャーポジティブ

【講演者】 足立 直樹 氏

((株)レスポンスアビリティ代表取締役)

東京大学理学系大学院博士課程修了（植物生態学）、博士（理学）。国立環境研究所、マレーシア森林研究所 (FRIM) を経て、現職。（一社）企業と生物多様性イニシアティブ (JBIB) 理事・事務局長等を務める。



16:05 企業による事例紹介

【事例紹介①】 日本新薬株式会社 山科植物資料館

生物多様性の恩恵を受ける製薬会社と

して、有用植物・文化的植物（フタバアオイ等）の保全、苗の増殖方法の研究、苗の提供や植物調査などを実施。OECM\*としても注目される寺社林の植物調査を実施した事例等について紹介いただく。

※国立公園などの保護地域以外で生物多様性保全に資する区域のこと



【事例紹介②】 株式会社島津製作所

OECM 登録の「島津の森」での地域在

来種の保護や、京都文化の理解と継承、生物多様性の保全を進め、科学技術を活用した土壌管理を実施。あわせて、2023年度から進めている TNFD に沿った情報開示についても紹介する。



16:35 質疑応答

オンライン参加者からも質問を受け付けますので、YouTube 概要欄を御確認ください。

17:00 グループディスカッション（現地参加者のみ、オンライン配信なし）

基調講演の登壇者等がファシリテーターとなり、参加者の方が交流するためのグループディスカッションを実施します。各企業がより本質的に生物多様性保全の取組を推進し、事業を発展していくためのヒントとなるようなテーマを設けて、意見交換を行っていただきます。

18:00 閉会

## 5 注意事項

- ・ 本セミナー中は、会場及びオンライン配信ともに、写真や動画撮影、録音は禁止していますので、御注意ください。
- ・ 登壇者の発表資料の配布等はありませんので、予め御了承ください。